

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	ひたちなか市			代表者名	大谷 明
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	029-273-0111
担当者役職	主任	担当者氏名	鈴木 秀明	連絡先E-mail	
住所	312-8501 茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DX推進に係る意識醸成プロジェクト		
概要	DXを推進するために、各部署の管理職と実務担当職員向けの研修を行い庁内の機運醸成を図る。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月10日	講演(実地)	13時05分	16時20分	15
				活動時間(分)	180
2-2.	会場名	ひたちなか市役所		最寄駅	勝田駅
派遣場所	所在地	茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号		最寄駅からの交通手段	バス又は徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一				
評価	大変よい				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市のDX推進のため、管理職向け研修を実施していただいた。DXを推進するうえで必要な管理職として役割や、ツールのご紹介をいただけたため、受講した課長にとって非常に参考になる内容だったと感じたため。				
アドバイザーへの要望事項	次回の一般職員向け研修会の開催に向け、引き続きご支援をお願いしたい。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	58人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	58	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	本市ではひたちなか市デジタル化推進指針を令和4年度末に策定し、現在は毎年ローリングで策定するアクションプランに基づき取組みを進めている。計画を推進するためには、職員一人一人がDXの必要性を理解し、自身の業務を見直すことが重要である。令和5年度までは、各課に一人配置しているデジタル化推進員(若手~中堅職員)への研修等を行ってきたところであるが、今回各所属長へのヒアリングを行った結果、管理職の中においてもDXやデジタル化に関する意識に差があるため、推進に当たっては部署の決定権を持つ管理職へのアプローチも必要である。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	「管理職(課長級職員)」及び各課に配置している「デジタル化推進員」に向けて、DXの意識醸成を目的とした研修会を開催し、本市のDXの推進に繋げる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DXを推進するにあたり、管理職（課長級）58名に対し、管理職として求められる役割などについて研修を実施していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・全課長等に向けて初めてDX推進のための研修を実施することができた。 ・課長級職員がDX推進の必要性を理解してマネジメントを行うために、意識醸成を図ることが目的であり、研修後に実施したアンケートでは、ほぼ全ての受講者から参考になったとの意見をいただいた。個別の記述においては「DXに関する意識改革の大切さに気づけた」や「管理職の役割を再認識した」との回答もあり、課長級職員にとって多くの気づきをえられる研修だったと考えている。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	3回目の支援においてデジタル化推進員向けの研修会を開催予定。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>実施後のアンケートにおいて、ほぼ全ての職員が「研修内容が参考になった」、90%以上の職員が「研修を受けて気づきがあった」と回答しており、課長級職員の意識改革に繋がった。</p> <p>また、自由記述においては「管理職としての役割を再認識した」や「デジタル化とDXの違いが分かった」などの回答があったことに加え、「こういった研修を継続的に行うべき」といった意見もあり、事務局としても今後の取組の参考となった。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	11/8 デジタル化推進員向け研修会実施	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>人口減少が進み、行政リソースが縮小していく状況においても、AI・RPAの活用などのデジタル化・DXを推進し、業務効率化等を図ることで、職員がより付加価値のある業務に専念し、高い水準の行政サービス維持を目指す。</p> <p>また、教育、医療、地域コミュニティなど様々な分野における施策を各部署がDXの視点を持って進めることで、市民一人ひとりがより豊かで充実した生活を送ることができるようなまちを目指す。</p>	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

